

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

「まなび・まなぶ・まなべ！いばらき東！ここからスタート！」

- ・自分の発想やアイデアを大切にし、何にでもチャレンジする姿勢を育成する。
- ・学校生活を通じて、集団活動の良さを理解し、思いやりの心を持った良い人間関係を育成する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- ・新たな価値を創造しながら、夢や目標を常に持ち続け、地域社会に貢献できる。
- ・個性を認知し、「強み」を伸ばすことができる。
- ・他を思いやる行動をとることができる。

総合的な探究の時間の学習評価

- ・探究テーマを自ら設定し、主体的に探究活動を進めることができる。
- ・探究活動で得た知識・技能を、日常生活や社会貢献につなげることができる。
- ・「道徳」の学びを通して、規範意識を高めるとともに、他を思いやる行動がとれる。

生徒の実態

- ・学習に対して苦手意識を持つ生徒が多い。
- ・素直だが成長途上であり、社会規範を理解できない生徒がいる。
- ・学習や進路に対して目標が設定できない。
- ・他者と協調することが苦手な生徒がいる。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・担任による丁寧な個人面談
- ・年次団、校務分掌等、校内チーム内の意識の共有
- ・SC、SSW、児童相談所等の外部諸機関との連携

目指す生徒の姿

- ・自ら考え、目標に向かって一生懸命に取り組むことができる生徒。
- ・知的好奇心が旺盛な生徒。
- ・自らの意志で選択できる生徒。
- ・他者を思いやり、公共を重んじることができる生徒。

学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

- ・小～中学校の復習も含めた全ての土台となる基礎学力
- ・社会に出るための心構えと職業に対する知識
- ・自らの生活習慣を確立させるための手立て
- ・社会規範を身に付けるための思いやりと公共心

学習活動、指導方法等

- ・学校設定科目「ベーシクトライ」の3年間継続実施
- ・学校設定科目「キャリアデザイン」を軸にした、段階的で多種多様な体験型学習の実施とキャリア教育
- ・特色ある選択科目の設定と、個に応じた選択科目の選択

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- ・複数担任制による、生徒の個に応じたきめ細かい支援
- ・保護者との情報及び意識の共有
- ・SCやSSWへの相談体制の充実
- ・キャリア体験活動（インターンシップ及びデュアルシステムを含む）を通しての地域・企業等との連携